



平成 29 年 4 月 6 日

各位

会社名 株式会社ディー・ディー・エス  
代表者 代表取締役社長 三吉野 健滋  
(東証マザーズ・コード番号 3782)  
問合せ先 取締役管理担当 貞方 渉  
電話番号 0 5 2 - 9 5 5 - 5 7 2 0  
(URL <http://www.dds.co.jp>)

### 当社株式保有先（北京視信源科技発展有限公司）買収中止のお知らせ

平成 29 年 3 月 31 日に開示した「(経過報告) 当社株式保有先（北京視信源科技発展有限公司）買収に関するお知らせについて」のとおり、北京視信源科技発展有限公司（Superpix Micro Technology Ltd. 以下「視信源」という）と北京君正集成电路股份有限公司（以下、「君正」という）との間で、買収に関する基本合意解消の協議が進められておりましたが、買収中止が正式に決定した事を確認しましたので、お知らせします。

#### 1. 概要

視信源と君正は、昨年 12 月に君正が視信源を買収することに関する基本合意に至り、買収に向けた最終的な手続きを進めておりました。当社は視信源の約 5% の株式を保有していることから、本年 2 月 7 日に公表した決算短信において、今期の業績予想の中に視信源株式売却による特別利益を見込んでおりました。また視信源と君正は、両社とも上場企業グループであることから中国証券監督管理委員会の審査を受け買収の承認を受ける必要がありました。

ところが、3 月最終週に中国証券監督管理委員会の審査が通らない見通しが高くなり、視信源と君正の両社は協議を進めた結果、買収に関する基本合意は解消され本買収は正式に中止となりました。

#### 2. 今回の買収中止と今後について

君正は、視信源の買収と同時にオムニビジョン社（以下オムニビジョン、注記参照）との間で買収の基本合意に至っており、両社を同時に買収することを買収成立の条件としておりました。オムニビジョンは、米国に本社がある CMOS センサー世界市場第二位の会社であります。買収が成立していれば、オムニビジョンと視信源の両社は合併を予定しておりました。視信源は中国における CMOS センサー市場に高いシェアを持っており、世界市場第二位のオムニビジョンとの合併によりグローバルな補完関係を構築するとの企図が背景にありました。

本年 2 月 15 日に中国証券監督管理委員会は発行株式の数量制限に関する新たな規定として「上場企業株式非公募増資実施細則」を公表しました。今回の買収の枠組みでは、オムニビジョンの時価総額評価が相対的に大きく、買収のために君正が発行する株式数が大量であり株式の希薄化の影響が非常に大きいことから、今回の買収については中国証券監督管理委員会の承認が得られませんでした。

残念ながら今回、君正による買収は中止となりましたが、視信源とオムニビジョンとの合併協議は、別の枠組みで引き続き継続し可及的速やかに合併協議を完了する予定であると視信源より報告を受けております。

なお、当社と視信源は、オムニビジョンとの合併の成否にかかわらず、引き続き業務提携関係を継続することで合意しており、新しい指紋認証センサーについての共同研究を進めてまいります。

## 2. 今後の見通し

上述のとおり、当初見込の株式売却益が実現する可能性は残っておりますが、買収及び合併の成否、さらには買収及び合併が行われるとしても、合併比率、価格、時期、売却先などのスキームは現時点で不確定であり、不確実性が高いため、平成 29 年 2 月 7 日に「平成 29 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表した平成 29 年 12 月期通期の業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日公表した「業績予想修正のお知らせ」をご参照ください。

### 注記：オムニビジョンについて

本社米国カリフォルニア州サンタクララ、1995 年創業、2000 年米国ナスダック市場上場、従業員約 2200 名、売上約 1450 億円 (2015 年)。スマートフォンや車載用カメラに使われる半導体 CMOS イメージセンサー世界市場 2 位、市場 1 位はソニー、3 位はサムソン (2015 年)。2016 年 2 月にナスダック市場での非上場化とともに中国資本のファンドにより約 19 億ドル (時価約 2100 億円) で買収された。

以 上